

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：10/8～10/12

・10/8(月)

米朝関係、加計学園問題、ICPO 前総裁失踪、米中貿易戦争、ノーベル経済学賞などについて報じられました。これら報じられたトピックについて放送法上の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、加計学園問題およびノーベル経済学賞の報道については検証者の所感を記しました。

・10/9(火)

トランプ政権、ノーベル平和賞、夜間中学の不足、翁長前知事の県民葬加計学園問題、北朝鮮問題、就活ルール、ヘイリー米国連大使辞任などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法上の見地から検証を行いましたところ、トランプ政権についての報じ方には放送法上問題が見られたほか、印象操作の疑いのある場面も見受けられました。また、トランプ政権、夜間中学の不足、ヘイリー米国連大使辞任については検証者の所感を記しました。

・10/10(水)

日米貿易交渉、ロヒンギャ問題、米朝会談とアメリカの核、靖国神社、オリンピックに難民選手団、佐々淳行さん死去などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法上の見地から検証を行いましたところ、ロヒンギャ問題については高く評価できるものでした。また、日米貿易交渉やロヒンギャ問題については検証者の所感を記しました。

・10/11(木)

豊洲市場が開場、世界同時株安に警戒感、サウジアラビア記者失踪事件、参院選挙で野党が候補者一本化の覚書、少子高齢化対策に新たな在留資格制度、高円宮家の三女絢子さまご結婚一時金一億円、小泉進次郎衆院議員が厚生労働部会長に内定などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法上の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。また、小泉進次郎衆院議員が厚生労働部会長に内定、というトピックについては検証者の所感を記しました。

・10/12(金)

来年のGW10 連休へ、外国人労働者、アメリカ中間選挙、九州電力で出力制御、医学部入試で差別的取扱い、玉城デニー沖縄県知事と安倍総理が面会、NY 株式市場などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法上の見地から検証を行いましたところ、外国人労働者についての報じ方は放送法上問題の見られるものでしたが、九州電力で出力制御についての報道は放送法上高く評価できるものでした。また、外国人労働者および九州電力で出力制御のトピックについては検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月8日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ゲスト：迫田さおり（元日本代表女子バレー選手）</p>		
<p>検証テーマ：米朝関係、加計学園問題、ICPO 前総裁失踪、米中貿易戦争、ノーベル経済学賞</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋深まる三連休最終日、体育の日、各地でイベント ・米朝関係 ・加計学園問題 ・男子マラソンで大迫が初の2時間5分台 ・ICPO 前総裁失踪 ・インドネシア地震、液状化で被害拡大か ・鹿児島県平川動物園、ホワイトタイガーに襲われ飼育員が死亡 ・米中貿易戦争 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 「体育の日」アスリートと交流 米朝関係 北海道留萌沖で竜巻か 樋田容疑者の荷物から高速船の半券見つかる ノーベル経済学賞 ・天気予報 ・世界バレー特集 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米朝関係：結論→特に問題なし <p>昨日アメリカのポンペオ国務長官と会談した北朝鮮の金党委員長は二度目の米朝首脳会談を機に大きな前進が遂げられると期待を示したことが報じられるとともに、韓国に立ち寄ったポンペオ長官から直接説明をうけたムン・ジェイン大統領が今朝の閣議で「近い内に金正恩党委員長の訪露と中国の習近平国家主席の訪朝が行われる見込みです。」と述べたこと、今夜ポンペオ長官と電話会談をした河野外務大臣は「アメリカの査察官を実験場に、という話をあったわけですから、一つ前進といっても良いのかもしれませんが。」と述べ日本の拉致問題について問題提起したことを明らかにしたとのことが取り上げられていた。</p> <p>またスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されていた。</p> <p>雨宮塔子「河野さんも一つ前進といっているけれども、これは前進ととってもいいんでしょうか。」</p> <p>星浩「まあキーワードは査察、でしょうね。ええ、その、北朝鮮が査察を受け入れると表明したわけですから、口約束と言っても半歩前進と思います。あの、北朝鮮にはその100箇所くらい核施設があるとされているんで</p>		

すけれども、これはリストを出しただけでは駄目なんですね。やっぱりそのリストに基づいてこれはどういう施設なのかと、専門家がチェックする必要があるんですけども、それを一部とは言え受け入れるという風に行ったわけで、アメリカはそれを評価しているわけですね、もう一つは連絡事務所を作ろうという話が動き出しているんですね。これに基づいて実務者協議が進むということであれば、アメリカはまたそれに対しても評価をするということになってくるでしょうね。」

駒田健吾「と入っても、査察の対象もごく一部ですし、非核化の入り口に立ったに過ぎないと思うんですが、それでも米朝首脳会談すつと行くんでしょうかね。」

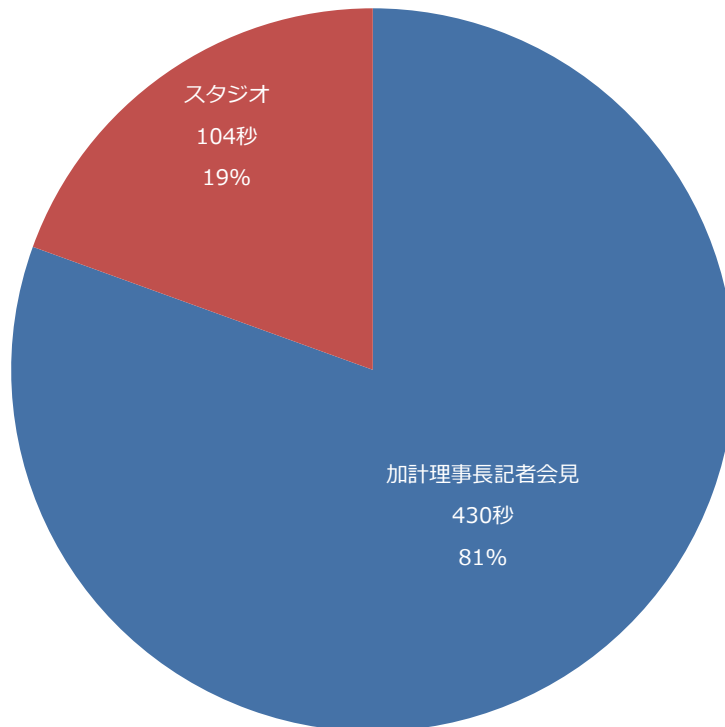
星浩「そうですね、一つはね、そのやっぱり、今回のミソは両方とも映像になりやすいという情報なんですね、つまり、査察官が入るとか、連絡事務所にアメリカの国旗がひらめくとか、ですね。そうなってくるとトランプさんからすると、ほら見ろ、俺が非核化を進めているっていう中間選挙に向けてアピールの材料になるわけですね、ですから今回ポンペオさんがワシントンに戻ってトランプさんが最終判断するということでは、二度目の米朝首脳会談に向けて非常に大きく動き出したということは間違いないでしょうね。」

このトピックに当てられた時間は 304 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・加計学園問題：結論→問題なし

加計理事長の記者会見について取り上げられていた。

このトピックに当てられた時間は 534 秒で、記者会見のシーンとスタジオでのシーンに大別され、それぞれのシーンの時間配分及び比率は以下の通りであった。



記者会見については以下に朱記したやり取りが取り上げられていた。

ナレ「会見は、謝罪から始まりました。」

加計孝太郎「まあ、常務のほうが勇み足をしましたといえますか、誤解を招くようなことを申し上げたということで本人はもとよりでございますけれども学園全体として、心からお詫びを申し上げたいと思う次第であります。」

ナレ「加計理事長のいう勇み足とは、愛媛県が加計学園からの報告をもとに作った文書に記されていたこの部分。」
文書「2月25日、理事長が首相と面談。首相からは”そういう新しい獣医大学の考えはいいね”とのコメントあり。」

ナレ「これが事実だとすると去年2月20日に初めて獣医学部新設の計画について知ったとする安倍総理の答弁と食い違うことになります。」

渡辺良人（加計学園事務局長）「この件についてはふと思ったことをその時言いました。」

ナレ「加計学園側は総理との面会話を担当職員の作り話だったと説明。愛媛県に虚偽の報告をしたとして謝罪したのです。」

ナレ「安倍総理との面談はあったのか、なかったのか、質問が集中しましたが。」

加計孝太郎「記録を調べてもらったんですけども、まあ事務局の方もないということなんで、ないんでしょう。」

上田剛久「はい、記録を調べましたけれどもお会いした記録は全くございません。」

記者「記録というのはなんの記録なんですか。何をどう調べられたんですか。」

上田事務局長「例えば出張の旅費、出張の日程表とかですね。」

記者「何年間保存されているんですか。」

加計「3年ぐらい」

上田事務局長「ええ、はっきりとは申し上げられませんが規定がございまして5年あるいは7年保存していると思います。」

記者「ではなぜ今回保存されていないんですか。」

加計「3年じゃない」

加計「だから記録がないということはあってないと思う。」

ナレ「面談について改めて否定しましたが証拠を示すことはありませんでした。しかし、面談が嘘だったとしてもつじつまが合わない部分はいくつもあります。例えば愛媛県文書のこの記述。」

愛媛県文書「加計学園から理事長と安倍首相の面談結果について報告したいとの申し出がある。」

ナレ「嘘をついて県側にアポイントを取り付けたのでしょうか。」

記者「意図的に嘘をつくという前提で県と市の協議に渡辺事務局長は向かってらっしゃったのでしょうか。」

加計孝太郎「みんな諦めムードだったという話を聞いております、ですからもうこれで黙っていたら県も市も、もう手を引くというような危機感の中から渡辺常務はそういうふうに行ったと聞いております。」

ナレ「別の文書には安倍総理が加計理事長と会食した際の具体的な発言内容まで記されています。」

文書「下村文科大臣が加計学園は課題への回答もなくけしからんと言っている。」

記者「全て、渡辺前事務局長が架空の話を作ったということですか？」

加計理事長「私はよく存じ上げておりません。」

上田事務局長「あー、私のほうが自分の一存で間違っただけのことを申し上げたということで常務の方からは話を聞いております。」

ナレ「渡辺氏は独断で下村氏の名前まで持ち出し発言内容まででっち上げた、ということなののでしょうか。2015年4月、加計学園の渡辺事務局長らは総理官邸を訪れ、当時の柳瀬総理秘書官と面会。愛媛県の文書によれば獣医学部新設に向けた動きが加速するきっかけとなりました。」

ナレ「加計理事長はこの面会についても歯切れの悪い説明を繰り返しました。」

記者「理事長が柳瀬さんに会いに行くというのは当時。」

加計理事長「いや、知りません。」

記者「全く聞いてない？」

加計理事長「聞いてません。大きな流れは事務局の方から連絡がございますけど、細かいことについてはもう任せておりますので。」

記者「一つの大きなターニングポイントだったと思うんですけども、理事長の耳には全く入ってなかった、と。」

加計理事長「報告は承けておりません。」

ナレ「渡辺事務局長から報告すらなかったとする加計理事長。」

ナレ「しかし、愛媛県の文書にはこの説明と矛盾する記述が。柳瀬秘書官との面談を前に行われた県や市との打ち合わせで渡辺事務局長がこう発言したと記録されているのです。」

文書「理事長から柳瀬秘書官にちゃんと説明しておくように言われている。」

ナレ「加計理事長から事前の指示があったというのです。」

記者「柳瀬さんに会うことはなにか指示があったんですか。」

加計理事長「いやいや、知りません。」

記者「県の文書にはそう書いてありますよ」

司会「えーと、4月2日の、えーと、それは。」

ナレ「文書の内容を把握していないのでしょうか、加計学園側は答えに詰まります。」

記者「愛媛県の文書には全く目を通されていないのでしょうか。」

加計理事長「はい。」

記者「これだけ話題になっているのに。」

加計理事長「はい。」

記者「これを下に渡辺元事務局長に質問するとか聞き取りをすとかいうことをされていなかったんですか。」

加計理事長「はい。」

記者「なんのためにこの会見を開いたんですか、前から問題視されていますよね。」

記者「なぜ渡辺局長は会見にいないんですか。」

加計理事長「ですから、処分中でございますので控えさせていただきたいと思っております。」

ナレ「文書を読んでいない加計理事長と記者とのやり取りは結局噛み合わず。」

司会「今回の記者会見は一段落とさせていただけるかと思っております。」

記者「理事長会見させていただくということでいいんですね。」

加計理事長「ですから、検討させていただきます。検討させていただきます。」

記者「理事長、今日なんのための会見なんですか。」

ナレ「結局、きちんとした返答が得られないまま、会見は一時間半あまりで終了しました。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

駒田健吾「必死で作ろうとしていた獣医学部なんですけれども、肝心なところで報告を聞いていない、とか。それから今日の会見のために愛媛県の文書を読んでいない、とかちょっと信じがたいようなコメントが。」

星浩「そうですね、まあ愛媛県側は関連の文書を出しているんですけれども、おそらく加計学園くらいの組織であればね、理事長の出張とか行動日程は把握しているはずですよね。毎日おそらく作って明日こういうスケジュールですよって出すわけですからね、それが無いというのが信じられないですよね。まあ今回の会見なんのために開いたかっていう質問がありましたけれど、これは愛媛県側が補助金を出していますから、これもうこのままではアシストできませんよ、

駒田健吾「莫大なお金ですよね。」

星浩「ということで開いたわけなんですけれども、結果としてはですね、昨日の会見は結果としては納得の得られるものはなかったわけですから、愛媛県とか愛媛県議会がこれをどう判断して明日以降ですね再び会見を求めるかどうか、そのへんが注目される場所だと思いますね。」

放送法上は特に問題は見られなかった。

・ ICPO 前総裁失踪：結論→特に問題なし

中国公安省次官で 2016 年には中国人で初めて ICPO 総裁に選ばれた孟宏偉 ICPO 前総裁が法律違反の疑いで国家監察委員会の調査を受けているとのことが報じられるとともに、孟宏偉氏の妻の「これは国柄と正義、そして国際社会に関わることです。」「夫が私の目の前に立ち、私に話をしない限り私は何も信用しません。」というコメントが取り上げられていた。また、孟氏と妻の通話アプリとのやり取りには「私の電話を待って。」という孟氏からのメッセージの下にはナイフの絵文字が送られており、ナイフは夫の目に危険が迫っているという意味ではないかと妻は不安をつのらせているとのことが伝えられた。

また、ICPO は 7 日、孟氏の総裁辞任を受け入れたと発表したことも合わせて伝えられた他、公安省は「孟宏偉は収賄と違法行為の疑いで国家監察委員会の調査を承けている。自業自得だ。」「周永康の毒の影響を徹底的に取り除く。」と発表していること、周永康氏は中国共産党の最高指導部の一人で汚職などで摘発された人物で孟子はその元側近だったこと。中国外務省は今回の件について、法による統治と反腐敗を推進する中国政府の確固たる決意を表しているとのことが、伝えられた。

スタジオでは雨宮キャスターの「警察の国際機関のトップが突然失踪という問題ですがこれまた背景にいろいろありそうですね。」というコメントに星キャスターが「そうですね、なんともミステリーですね。あの、孟前総裁の個人としての収賄容疑なのか、それとも組織の中の権力闘争の一つなのかね、まあ世界的に関心を集めているようです。まあはっきりしているのは国際機関のトップがこういう形で拘束されるというのは中国にとってかなりのダメージなんですけれども、イメージダウンですよね。まあそれよりもやはり党内の締めつけ、国内の締め付けを優先するというその執行部の判断があったというのは間違いないですよね。」と応えていた。

このトピックに当てられた時間は 234 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・米中貿易戦争：結論→特に問題なし

中国の王毅外相は8日アメリカのポンペオ国務長官と会談しアメリカが貿易戦争をエスカレートさせると同時に台湾などの問題でも理由なく中国の内外政策を批難している、アメリカが間違っただけの言行を直ちに辞めることを要求する、と強く批判したこと、これに対し、ポンペオ氏は中国側が貿易摩擦をめぐる協議に応じていないことについて、幅広い事柄について話し合う重要な機会を逸したことを遺憾に思う、と不満を顕にしたこと、米中の外相が公開のカメラの前で非難の応酬をするのは極めて異例であるとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は51秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・ノーベル経済学賞：結論→特に問題なし

今年のノーベル経済学賞はエール大学教授のウィリアム・ノードハウスさんとニューヨーク大学経営大学院のポール・ローマーさんが受賞したこと、気候変動と技術革新が持つ要素と経済成長を結びつけた業績が評価されたということが伝えられた。このトピックに当てられた時間は19秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・加計学園問題

星キャスターの言う通り、今回の加計理事長の会見に対して愛媛県や愛媛県議会がどう対応するのかが注目のポイントであろう。

・ノーベル経済学賞

今回受賞したウィリアム・ノードハウス氏とポール・ローマー氏が今後の報道でどのように扱われるかは注目のポイントであろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月9日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ゲスト：迫田さおり（元日本代表）</p>		
<p>検証テーマ：トランプ政権、ノーベル平和賞、夜間中学の不足。翁長前知事の県民葬 加計学園問題、北朝鮮問題、就活ルール、【最新】ヘイリー米国連大使辞任</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランプ政権 ・昭和の大横綱輪島さん死去 ・ノーベル平和賞 ・夜間中学の不足 ・翁長前知事の県民葬 ・加計学園問題 ・北朝鮮問題 ・就活ルール ・スポーツ報道 ・23Today <p>人気歌手テイラー・スウィフトさんが民主党支持を表明 第54代横綱輪島氏死去 和歌山市で高齢者はねられ死亡、逮捕の男「携帯電話見ていた」 振り込め詐欺関与の疑い、山口組総本部を家宅捜索 東証でシステム障害、一部取引に不具合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 ・【最新】ヘイリー米国連大使辞任 ・特集：世界バレー 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランプ政権：結論→放送法上問題あり <p>これまで政治的な発言を控えて来たアメリカだけではなく世界中で人気の歌手テイラー・スウィフトさんが自身のSNSで突如、野党、民主党への支持を表明したことが報じられるとともに、「これまで私は自分の政治的な意見を公にするのはためらってきました。でもこの二年間、私の人生でも世界でもいろいろなことがあって、今は意識が大きく変わりました。肌の色やジェンダー、どんな人を愛するかに関わらず、すべてのアメリカ人の尊厳のために戦おうとしない人に投票することはできません。」「議会での彼女の投票記録を見て、恐ろしくなりました。男女の同一賃金に向けた案に反対し、DVやストーカー、デートレイプから助成を守ろうとする法律の改正にも反対をしました。」というテイラー・スウィフトさんのインスタグラムでの投稿が取り上げられた。</p> <p>この投稿のもたらす影響についてアメリカ政治に詳しい早稲田大学社会科学部の中林美恵子教授の「共和党の中でテイラーさんを大好きだった人は相当がっかりしたんじゃないかと思いますね。共和党の支援者の中にはカ</p>		

ントリー音楽大好きな人が結構いると思うんですよ、当然、その音楽を好きか嫌いに関わらず共和党としては危機感を覚える、そんなひとつの出来事だと思いますね。」「18歳から29歳までの若い人たちは26~7%くらいしか私は絶対選挙に行きますと答えていないんです。普段行かないこういった人たちが選挙に行くと小さな選曲では選挙結果を急に変えてしまう可能性が出てきますね。若い人たちの間ではインパクトあると思います。」という見解が紹介されていた。

また、ある政治団体が政治的無関心を皮肉ることで若者に投票を促すことを狙った動画をネット上に乗せていることが伝えられた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「アメリカではテイラー・スウィフトさんみたいな著名なアーティストが自分の支持する政党をはっきり口にするようなことが結構あるんですね。」

星浩「そうですね、共和党とか民主党どちらかということはあると思います。特に今回の中間選挙は、そのトランプ政治の是非を問うかなり激し選挙になりますんでね、従来以上にどちらを応援するか、支持するかっていうのははっきりさせるアーティストは増えてくるんじゃないですかね。」

駒田健吾「ちょっと話は変わりますがけれども時を同じくしてですね、性的暴行の疑惑を持たれていたカバノー氏、カバノー氏の連邦最高裁判事の就任の宣誓式が行われました。このカバノー氏を巡ってもアメリカが2つに分かれますよね。」

星浩「そうですね、アメリカの最高裁判事というのはその人権問題とかの最終判断を示すそういう意味で非常に重要なポストなんですね。ですから、今までだいたい議会では8割とか9割の賛成で任命されてきたんですけど今回は50対48というものすごい僅差でして、これも今、アメリカが対立分断をしている象徴のような現象ですよ。」

このトピックに当てられた時間は389秒だった。

スタジオでの星キャスターの「アメリカの最高裁判事というのはその人権問題とかの最終判断を示すそういう意味で非常に重要なポストなんですね。ですから、今までだいたい議会では8割とか9割の賛成で任命されてきたんですけど今回は50対48というものすごい僅差でして、これも今、アメリカが対立分断をしている象徴のような現象」というのは、確かに前段の「非常に重要なポスト」というのはそのとおりであるが、後段の「ですから、今までだいたい議会では8割とか9割の賛成で任命されてきた」ということについては、1991年のクラレンス・トーマスの承認手続ではセクシャルハラスメント疑惑が問題となり質疑応答では特にセクハラを受けたという女性まで証人喚問して大論争となったあげくに賛成52対反対48でかろうじて承認されたという例があること、1987年のロバート・ボーク候補に至っては承認が否決されているという例もあること、また議事妨害により投票が行われなかったり上院司法委員会で否決されたりするなどの理由で上院本会議による投票までたどり着かないこともある。

このように星キャスターのいう「今までだいたい議会では8割とか9割の賛成で任命されてきたんですけど今回は50対48というものすごい僅差」というのは事実に反する発言であり、放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」に反している。

・ノーベル平和賞：結論→特に問題なし

受賞決定後はじめての会見でのムラドさんの「驚きました。とても栄誉なことです。でも、ただひとつの賞、ただ一人では目標は達成できません。」、ムラドさん「ノーベル賞の賞金ではヤジディ教徒の多くの村を再建することはできません。すべての政府に虐殺と性暴力と戦うことを求めます。」というコメントが取り上げられるとともに、ヤジディ教徒の苦難について伝えられた。

また、ムラドさんがイスラム国から逃げ出したばかりの 2015 年イラクの難民キャンプで一緒に寝泊まりしながら何度も取材をしていた林典子さんの「面白いときもあれば笑うし、なにか嫌なことがあれば怒ったりとか、そういうことはあったんですけども、夜中になると一人でなってしまうりとか、やっぱりそのなんとか感情をなんとか押し殺して、生きているんだなっていうのを感じました。」「まあ、その頃と同じように、もう絶対に生活することはできないのは彼女はわかっているんですけども、あの映像を見たときのナディアの表情がすごくなんか忘れられなくて、いきいきしてて、なんか、彼女個人の幸せもいつか訪れてほしいなと思います。」というコメントとともに、ムラドさんが見せてくれた映像の結婚式の時にムラドさんが感じたような幸せをまた感じてほしいと思っているとのことも取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

皆川玲奈「ムラドさんは難民キャンプにいるときから、常に周りの人を勇気づけて、で林さんにも自分の身に起こったことを淡々と話していて、やはり自分のやるべきことをすごくよくわかっている女性なんだなって感じましたね。で、林さんによると、ノーベル賞を受賞したあと五年十年がとても大切でそこで国際社会がどう動いていくか、そこをムラドさんは冷静に見ているんじゃないかと、話していました。」

雨宮塔子「もう前を見据えているというか、会見でね、笑顔がなかったということですけども、喜びよりもきつと引き受けた覚悟のほうが大きかったのかもしれないね。」

このトピックに当てられた時間は 389 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・夜間中学の不足：結論→特に問題なし

小学校での義務教育を承けていない人は全国に 12 万人以上、これとは別に小中学校では不登校の児童が 13 万人以上いる現状を承け、一昨年国会では教育機会確保法が成立し、都道府県ごとに筆耕効率の夜間中学校を設置するよう求めている一方で 2 年近くたった今も学校があるのは東京や大阪などの八都府県 31 校（"東京都 8 校、千葉県 1 校、神奈川県 2 校、奈良県 3 校、京都府 1 校、大阪府 11 校、兵庫県 3 校、広島県 2 校）のみというのが実情であることが報じられた。また、岡山に夜間中学校を作る会の城之内庸仁代表の「字が読めなかったり書けなかったり、たった一人でも学びたい人がいればやはり県、もしくは市が前向きに検討していかないといけないのではないかなというふうに思います。」というコメントが取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「夜間学校には外国人もたくさん通っているということなんですが、一都道府県に一校というわけにはいかないのでしょうか。」

星浩「まだその 39 県ではできてないということなんですが、文科省によると作れない理由はまだ必要性を確認できないという反論があるらしいですね。これはおそらくまだ夜間中学ができていないところには必要性がなかなか発見できないんでしょうけれども、もしこういう事を作りますよと言えばね手を上げてくる人も多いはずですから、やはり法律の趣旨は全都道府県に作るということですので、その趣旨に合わせて早めにそれを作って

もらいたいと思いますよね。」

今回のトピックについて当てられた時間は 381 秒だった。今回の報道自体は放送法上の問題は見られなかったが、法律制定後に実際には現場で上手くワークしていないという実情について、こうした問題が発生する前に法案審議の際に現場でワークするのかどうかという点については、仮に国会では全会一致に近い形での議論であっても、もっと取り上げて検証すべきではないのだろうか。

・翁長前知事の県民葬：結論→特に問題なし

翁長前知事の県民葬について県民がおよそ 3000 人が出席したとことが報じられるとともに、県民層での玉城デニー沖縄県知事の「あらゆる手法を駆使して新基地建設の阻止に取り組まれ国と対峙しながらも沖縄の民意を強く訴え続け、多くの県民の共感を得ました。」というメッセージ、菅義偉官房長官の「翁長前知事は沖縄に基地が集中する状況を打開しなければならないという強い思いをお持ちでした、政府としても基地負担の軽減に向けて一つ一つ確実に結果を出していく決意であります。」という安倍総理の追悼メッセージの代読が取り上げられた。また、菅官房長官の代読が終わったところでの参列者が「帰れ。」と野次を飛ばすシーンも取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は 102 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・加計学園問題：結論→特に問題なし

おととい行われた加計学園の加計理事長の会見について、愛媛県の中村知事は引き続き説明責任を果たすべきだという考えを示しました。一方で県に対する説明責任は果たされた、とも述べ加計学園に値する補助金の見直しは行わない考えを示したこと、中村時広愛媛県知事の「じゃあ、全部腑に落ちたのかと言ったら、ストーンと落ちているわけではありません。」というコメントが取り上げられていた。

このトピックに当てられた時間は 27 秒で、今回の放送については放送法上の問題は見られなかった。

・北朝鮮問題：結論→特に問題なし

モスクワを訪問中の北朝鮮のチェ・ソンヒ外務次官が 9 日、中朝ロ外務次官の三者協議に臨み、朝鮮半島情勢について協議したこと、ロシア通信などによると三者協議は三時以上続き二回目の米朝首脳会談を前にこれまで北朝鮮との制裁強化ではなくアメリカとの緊張関係を段階的に緩和するよう訴えてきたロシアと中国を含む三カ国の連携が示された格好であること。チェ外務次官は 8 日にもロシアのオルブロフ外務次官とも会談を行い、活発な外交を展開しているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 40 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・就活ルール：結論→特に問題なし

面接や内定時期などを決めるいわゆる就活ルールについて、経団連は 2021 年春に入社する学生の就職活動から廃止することを正式表明したこと、廃止されれば採用競争が激化するとの懸念もある国は就活ルールを継続させる方針で来週 15 日にも経団連と大学側、双方を呼んで競技する予定であることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 29 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【最新】ヘイリー米国連大使辞任：結論→特に問題なし

アメリカの複数のメディアによると、トランプ大統領に忠実な政府高官と見られてきたニッキー・ヘイリー国連大使が年内いっぱい辞任するということが報じられるとともに、ヘイリー氏はトランプ大統領就任当初から国連大使を務めていたとことが伝えられた。

スタジオでは星キャスターが「そうですね、アメリカでは国連大使ってのは閣僚級ポストですので、辞任ということであれば非常にその衝撃は大きいと思います、その理由が何であるかちょっと注目される場所ですね。」と述べていた。

このトピックに当てられた時間は 40 秒で、特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・トランプ政権：結論→印象操作の疑いあり

アメリカ連邦最高裁の人事を巡って、事実はトランプ政権以前でも僅差での承認であるとか、そもそも承認が得られないあるいは、議事妨害により投票にたどり着けないというケースもあったにもかかわらず、「今まででいたい議会では 8 割とか 9 割の賛成で任命されてきたんですけども今回は 50 対 48 というものすごい僅差でして、これも今、アメリカが対立分断をしている象徴のような現象」という星キャスターのスタジオでの発言は、実際には保守一リベラルの重要な争点である最高裁人事で僅差になることもおかしくないにもかかわらず、今回の僅差についてアメリカが対立分断している現在に特有で異例な現象あるかのような印象を視聴者に与えるものであり、印象操作の恐れがある。

検証者所感

・トランプ政権

日本でも国会同意人事というものがあるが、例えば金融政策が争点となった場合は日銀の総裁や副総裁を誰にするのかということについて政党間で激しい意見の対立が見られるが、それは社会に対立分断があるからなのだろうか。同様に、アメリカの最高裁判事についても憲法問題が争点となる事例が多発するような場合はやはり政党間での意見の対立は激化するものではなからうか。

また、重要度が低いポストに比べて重要が高いポストは重要度が高いからこそ、議会の勢力図が拮抗している場合はやはり議会同意人事については賛否が拮抗するのだと考えると、星キャスターの「アメリカの最高裁判事というのはその人権問題とかの最終判断を示すそういう意味で非常に重要なポストなんですね。ですから、今まででいたい議会では 8 割とか 9 割の賛成で任命されてきた」というコメントは、それ自体、非常に違和感を覚えるものだった。

・夜間中学の不足

スタジオでの星キャスターの「法律の趣旨は全都道府県に作るということですので、その趣旨に合わせて早めにそれを作ってもらいたいと思いますよね。」という発言は全くそのとおりであるのだが、そもそもこのように実際に制定したものの実際には現場で上手くワークしないというケースは少なくないように感じられる。与野党

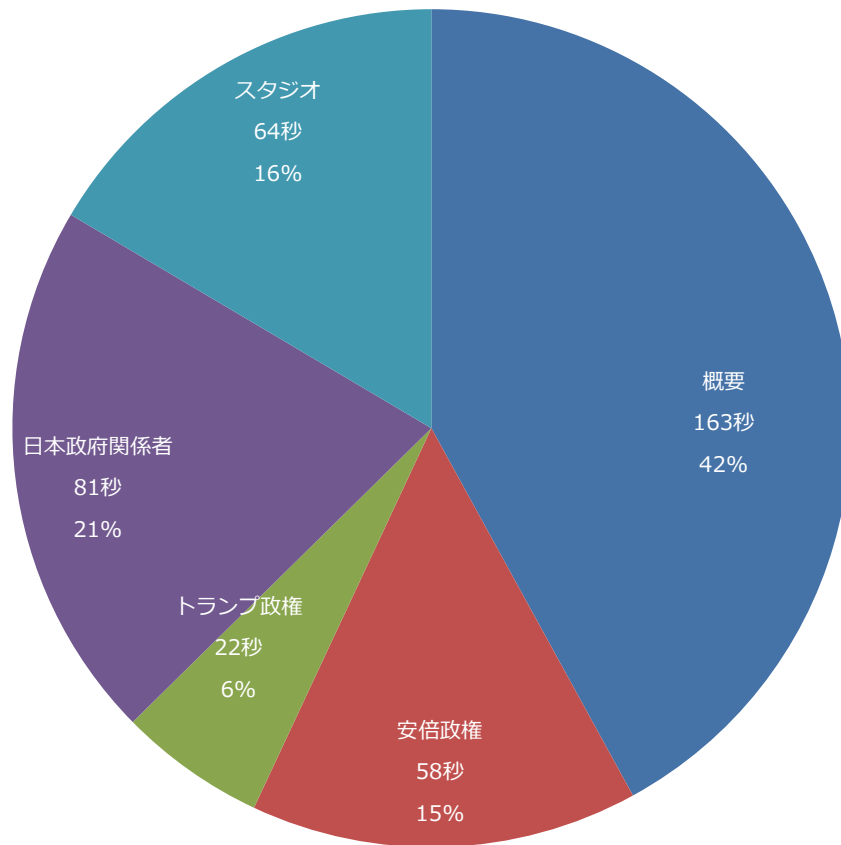
間で争点にならない法案や政権与党と野党第一党が賛成するような法案はニュースバリューがないからあまり報じられないのかもしれないが、そうした法案が実際に制定され施行された際に現場でワークしないというようなことは往々にしてあるはずで、むしろメディアが国民に対して立法や行政についてしっかり伝えるのであれば、そうした政権与党と野党第一党が賛成するような法案こそ実装された際の懸念について慎重に伝えるべきではないのだろうか。また、そのような法案についての議論も伝えることで「野党は反対しかしない」という誤った印象を払拭することにもなるのではないだろうか。

・【最新】ヘイリー米国連大使辞任

星キャスターが「アメリカでは国連大使ってのは閣僚級ポスト」と述べていたが、逆に日本ではこうした対しのポストが閣僚級ではないのはどういう理由からなのか、気になった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月10日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ゲスト：迫田さおり（元日本代表選手）</p>		
<p>検証テーマ：日米貿易交渉、ロヒンギャ問題、米朝会談とアメリカの核、靖国神社 オリンピックに難民選手団、佐々淳行さん死去</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊洲市場開場！ ・日米貿易交渉 ・ロヒンギャ問題 ・覆面芸術家バンクシーの人物像を追う ・米朝会談とアメリカの核 ・富田林逃走、同行男性語る ・靖国神社 ・スポーツ報道 ・23Today 豊洲市場オープン 日米貿易交渉 オリンピックに難民選手団 風疹患者数去年一年間の10倍以上に 佐々淳行さん死去 ・天気予報 ・特集：世界バレー 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日米貿易交渉：結論→特に問題なし <p>日米貿易交渉について概要、安倍政権の主張、トランプ政権の主張、日本政府関係者による裏事情、スタジオでのやり取りという5つのシーンに大別された。このトピックに当てられた時間は388秒で、それぞれのシーンに当てられた時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>		



概要で日米首脳会談での新たな貿易交渉を行うという合意について日本政府は「これは TAG,物品貿易協定の交渉であって FTA 自由貿易協定ではない」と説明していた一方でアメリカ側は「この合意で FTA に向けた交渉も視野に入れている」とし双方の認識の食い違いが起きていること、その原因として正式な合意は英語で書かれたものであり、これのアメリカ大使館の仮翻訳では「物品、またサービスを含むその他重要分野における日米防衛記協定の交渉を開始する。」となっている箇所が日本政府発表「日米物品貿易協定 TAG について他の重要分野についての交渉を開始する。」となっていることが取り上げられていた。

安倍政権の主張としては安倍総理の「TAG 交渉はこれまで日本が結んできた包括的な FTA とは全く異なるものであります。」という発言が取り上げられていた。

トランプ政権の主張ではペンス副大統領の「我々は間もなく二国間の FTA に向けた歴史的な交渉を日本と始めるつもりだ。」という発言が取り上げられていた。

日本政府関係者が裏事情を語る場面では以下に朱記した発言が取り上げられていた。

ナレ「なぜ日本政府は TAG という言葉にこだわるのでしょうか。政府の交渉関係者はこう裏事情を明かします。」

政府関係者「安倍総理が FTA の事前協議ではないと発言しているからだ。」

ナレ「例えば、今年 5 月、」

安倍総理「この協議は日米 FTA 交渉と位置づけられるものではなく、その予備協議でもないことを明確にしておきます。」

ナレ「農家などに FTA への拒否感が強い中、総理はこうした立場を繰り返し示してきたのです。」

日本交渉関係者「総理がそういった以上、日本としては FTA という言葉は使えない。それで TAG という言葉が作られた。やっぱり日本語の訳し方はちょっと違うよね。」

ナレ「ただ、アメリカ側もまずは物品、その後にサービスという順番での交渉には同意しているといいます。」

日本政府関係者「まずは物品からトランプ大統領が交代するまでダラダラ交渉を続けてアメリカを TPP に戻していく手法でしょう。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返り広げられていた。

雨宮塔子「日米でこれだけ隔たりがあってよく合意できたなと思ってしまいますが。」

星浩「そうですね、両国ともにね、国内向けの言い訳があるのでそれを文書にしたというのが原因ですよ、そもそもですね、両国には隔たりがあるんですよ。まず TPP については日本はこういう多国間の枠組みで行きましょうっていうんですけれどもトランプさんは離脱しましたしね、それから FTA 二国間の交渉は日本は駄目よと行ってますけれどもトランプさんはそれで押し切ろう、とガンガンおそうという作戦ですからね、今回の TAG っていうのは日本はごくごく限定的なその自由化交渉なんだって言ってますけれどもトランプさんはこれを入り口に市場開放を迫ろうということなので両方とも思惑が違ってるわけですよ。」

雨宮塔子「でも、実際に交渉は進んでいくんでしょうか。」

星浩「まあ、日本側は実際のところこの TAG を使って時間稼ぎをしようという事でダラダラ行くんでしょう、で、トランプさんの方はとにかく早くやって、成果を上げたいということですので、そのへんがどうなってくるのか、これからの協議かなり難航しそうな雲行きですよ。」

放送法上の観点では特に問題は見られなかった。

・ロヒンギャ問題：結論→高く評価

日本を訪れていたミャンマーのアウンサンスーチー国家顧問が 6 日感の日程を終え帰国したこと、スーチー氏はロヒンギャ問題を巡って国内外で苦しい立場にあるとのことが伝えられた。

ロヒンギャ問題については仏教徒が多数を占めるミャンマーにおいてこれまでラカイン州に住むイスラム教の少数民族ロヒンギャは国民と認められないなど差別的な扱いを受け、度々治安当局と衝突し隣国のバングラデシュにおよそ 100 万人とも言われる多くの人が難民として逃れていること、ミャンマー国軍が行った掃討作戦を国連が民族浄化の典型だと国際社会から非難が高まっていて国連の調査団は「軍による人の命や尊厳、自由、そして国際法の軽視はミャンマーの国民、そして国際社会にとって懸念の原因だ。」と報告した他、スーチン氏についても事実上の国家元首の立場とその権威を用いてラカイン州で進行する事態を止めようともしてこなかったと非難しているとのこと、日本は批判を強める欧米諸国とは一線を画して国連での非難決議を棄権するなどスーチー氏に対し協力する姿勢を見せているとのことが伝えられた。

また、東京外国語大学講師の日下部尚徳氏の「欧米諸国からの批判があり、そこに対して行動を取りたいんだけども国道をとってしまうとミャンマー国内の支持層を失う可能性があるチウジレンマを抱えているのだと思います。」「立場としては大統領ではないということで、国の軍を管轄する力、権限は持っていない、自分の管轄外ですのでスーチーさん自身で解決することが難しい。」「日本政府が一番恐れているのは、スーチーさんが国民の支持を得られなくなって結果として軍部政権に戻ってしまうということ、軍部との関係の深い中国がミャンマーでの影響力を増すということをやはり日本政府は警戒しているということはあると思います。」という見解も伝

えられていた。

スタジオでは雨宮キャスターの「スーチーさんは複雑で厳しい状況におかれているみたいですが解決できるのでしょうか。」という発言に星キャスターが「そうですね、日本の専門家に聞いてみるとミャンマーの知識層の中でもですね、ロヒンギヤに冷淡な人が意外と多いんだっていうんですね。まあ軍部も強硬派ですから、スーチーさんもなかなか動きがとれないというのが現状なんですね、やっぱり国際社会から支援の動きをもり立てて行くしかないんですが、そうするとまあスーチーさんも国際社会がそう言うので支援しましょう、と国内的には動きやすくなるんだとそういう人もいますね。」と応えていた。

このトピックに当てられた時間は 318 秒で、放送法の観点からはスーチー氏がロヒンギヤ問題を巡って国内外でどういった苦境に陥っているのかを様々な観点からの言及がされており、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に照らしても高く評価できるものだった。

・米朝会談とアメリカの核：結論→特に問題なし

アメリカのトランプ大統領はアイオワ州での演説に向かう専用機の中で記者団に対し二回目の米朝首脳会談について 11 月 6 日に行われるアメリカの中間選挙よりあとになるという見通しを示したこと、去年 12 月アメリカがネバタ州で核爆発を伴わない臨海前核実験を行ったことがわかったこと、核安全保障局の報告書によると、通常よりも反応が鈍い爆薬でプルトニウムに衝撃を与える方式を試したものであり、核兵器の設計に有用なデータを採取できたと評価していて年内にも別の臨海前核実験を行う方針であるとのことが報じられた。

このトピックに当てられた時間は 88 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・靖国神社：結論→特に問題なし

靖国神社の宮司が「陛下は靖国神社を潰そうとしている」などと発言をし責任をとって辞職することになったとのことが報じられるとともに、靖国神社によると小堀邦夫宮司は今年 6 月「陛下が一生懸命異例の旅をすればするほど靖国神社は遠ざかっていく」と述べ、その理由として「どこを異例の旅で訪れようがそこには御霊はいだらう」と発言したということで、小堀宮司は宮内庁を訪れ謝罪し辞職の意向を固めたとのことである、と伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 34 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・オリンピックに難民選手団：結論→特に問題なし

IOC 国際オリンピック委員会は一昨年のリオデジャネイロオリンピックで初めて結成した難民選手団を東京オリンピックでも結成すると発表したこと、東京オリンピックでの人数は決まっていないがすでに 50 人以上の候補者がいて IOC が財政面などで支援しているということが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 30 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・佐々淳行さん死去：結論→特に問題なし

内閣安全保障室の初代室長の佐々淳行さん（87）が老衰の為なくなったとのこと、佐々さんは 1954 年に今の

警察庁に入庁し、あさま山荘事件では現地で指揮に当たり、退官後は危機管理の専門家として活躍したとのが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 22 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ 日米貿易交渉

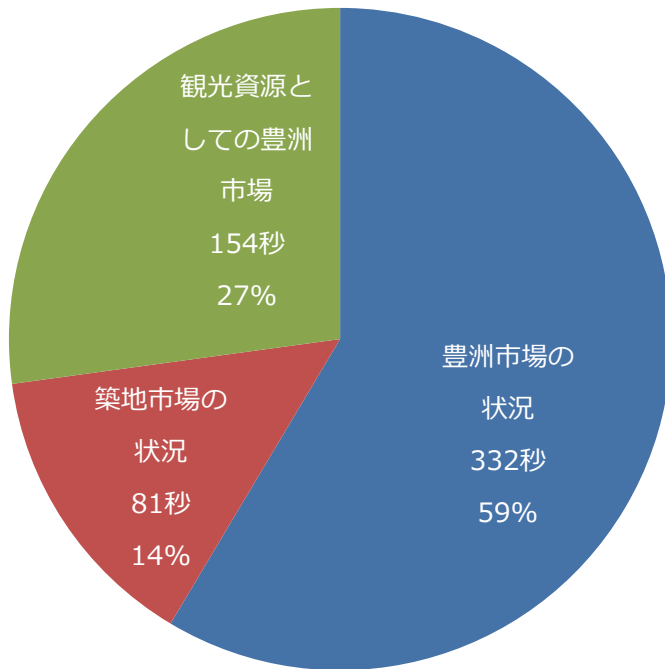
VTR では「農家などに FTA への拒否感が強い」とされていたが、対象がサービス分野にも広がる FTA よりも物品への関税に焦点が絞られる TAG のほうが、こと農家に限って言えば拒否感が強いように思えるが、そのあたりはどうなのだろうか。FTA への強い拒否感を持つ人たちを「農家など」と括ることで、FTA は嫌だが農産物を始めとした物品の関税が対象となる TAG なら構わないとする人たちが誰なのか、今ひとつ見えてこなかった。

・ ロヒンギャ問題

星キャスターがスタジオで「日本の専門家に聞いてみるとミャンマーの知識層の中でもですね、ロヒンギャに冷淡な人が意外と多いんだっていうんですね。」と驚きを込めて述べていたのが印象的だった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月11日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙 ゲスト：迫田さおり（元日本代表）</p>		
<p>検証テーマ：豊洲市場が開場、世界同時株安に警戒感、サウジアラビア記者失踪事件、 参院選挙で野党が候補者一本化の覚書、少子高齢化対策に新たな在留資格制度、 高円宮家の三女絢子さまご結婚一時金一億円、小泉進次郎衆院議員が厚生労働部会長に内定</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊洲市場が開場 ・ご当地アイドルが自殺 ・世界同時株安に警戒感 ・サウジアラビア記者失踪事件 ・千葉元幼稚園教諭に懲役9年 ・参院選挙で野党が候補者一本化の覚書 ・少子高齢化対策に新たな在留資格制度 ・スポーツ情報 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> 豊洲市場が開場 ご当地アイドルが自殺 高円宮家の三女絢子さまご結婚一時金一億円 小泉進次郎衆院議員が厚生労働部会長に内定 丸の内線新型車両公開 ・天気予報 ・世界バレー特集 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊洲市場が開場→結論:放送法第四条の見地からは問題なし <p>10月11日に開場した豊洲市場についての報道。同報道では豊洲市場の状況、築地市場の状況、観光資源としての豊洲市場と3つの論点に大別出来た。なおそれぞれの論点についてスポットが当てられた時間の配分や比率は以下の通りだった。</p>		



豊洲市場の状況については主に初日に起きたアクシデントや市場関係者が撮影した施設内の混乱した様子が紹介されていた。一連の状況について水産仲卸「山治」の山崎康弘社長は「いろいろな部分もあるんですよ。ただ始まってしまったので言いこなしで世界の豊洲になるように頑張るしかない。」と語っていた。

また築地市場については解体作業中の築地市場で閉場に反対して営業を続ける店舗での買い物ツアーについて紹介されていた。買い物ツアーの参加者は「サケフレークとウニを買いました。この場所を解体なんて許せない。もったいない。本当にもったいない。」と築地市場の閉場に怒りをあらわにしていた。

番組の後半部は観光資源としての豊洲市場が主な論点であった。大手バスツアー会社「はとばす」の野嶋俊成部長は「いつコースとしてやってくれるのかという問い合わせが多数ですので。築地が丁度年間5万人の利用者数があるのでそれ同様かそれ以上の集客、案内が出来れば。」と豊洲市場ツアーの目標について語っていた。またキャスターの皆川玲奈氏も「観光客を受け入れる体制はまだ完全な状態ではないんですけども今日オープンという情報を聞きつけた外国人観光客の方が早速来て写真を撮ったり、ツアーの問い合わせもかなり多いようなので観光の現場としてはすごく盛り上がっているような感じがしましたね。」と報告していた。このトピックスの報道時間は567秒で放送法第四条の見地からは特に問題点は見当たらなかった。

・世界同時株安に警戒感→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

ニューヨーク株式市場での株価急落のあおりを受け日経平均株価が一時1000円を超える値下がりになったことについての報道。中国の上海市場などアジア各国の地上でも株価は下落していて市場では世界同時株安への警

戒感が高まっていると伝えられていた。このトピックスは 226 秒で特に問題点は見当たらなかった。

・サウジアラビア記者失踪事件→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

サウジアラビアのジャーナリストであるジャマル・カショギ氏がトルコのサウジアラビア領事館に入っていたのを最後に消息を絶ったことについての報道。トルコ当局はサウジアラビア領事館内で同氏が殺害されたのではないかとの見解を示していた。サウジアラビア総領事は領事館を公開するなどして身の潔白をアピールしているものの国際的な圧力が高まっていると伝えられていた。なお同報道は 287 秒報道され賛否が分かれる点は見当たらなかった。

・参院選挙で野党が候補者一本化の覚書→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

来年の参議院選挙に向けて立憲民主党、国民民主党、連合の三者が候補者の一本化を目指すなどの覚書を交わしたことについての報道。コメンテーターの星浩氏は「前回の参議院選挙、与野党激突だったんですが当時はずね、あの民進党の代表だった岡田克也さんが一年がかりで選挙体制を作っていたんですけどね、それでもね 32 の 1 人区で野党が勝ったのは 11 個だったんですね。今回本当に野党が勝ちたいと思うんだったらもう参議院選挙まで 8 ヶ月ですから、もう早くその人選とか選挙体制を決めていくしかないですよ。」とコメントしていた。このトピックスは 77 秒で特に問題点は見当たらなかった。

・少子高齢化対策に新たな在留資格制度→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

少子高齢化による人手不足の解消に向け政府が新たな在留資格制度を検討していることについての報道。新たな制度では外国人労働者が日本語と技能試験に合格すれば優れた技能を持つと認定され最長 5 年の在留期間が認められることなどが講じられていると報道されていた。また政府が今月召集される臨時国会に新たな制度内容を盛り込んだ法改正案を提出する予定であることも併せて伝えられた。このトピックスの報道時間は 51 秒で特に問題点は見当たらなかった。

・高円宮家の三女絢子さまご結婚一時金一億円→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

高円宮家の三女、絢子さまが結婚されるのを前に皇室経済会議が開かれ皇室を離れる際に支給される一時金が上限額の 1 億 675 万円に決まったことについての報道。このトピックスの報道時間は 21 秒で賛否が分かれる点は見当たらなかった。

・小泉進次郎衆院議員が厚生労働部会長に内定→結論:放送法第四条の見地からは問題なし

自民党の小泉進次郎衆院議員が党の厚生労働部会長に内定したことについての報道。来週の総務会で正式に決定される予定であることも伝えられた。なお同報道は 26 秒で特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

- ・小泉進次郎衆院議員が厚生労働部会長に内定

小泉進次郎氏といえば、筆頭副幹事長の前は TPP 交渉などが大変な時期に農水部会長に任命され、今回は内閣が社会保障改革を主要テーマとして掲げている中での厚生労働部会長への内定ということで、政権からも重用されているのではなかろうか。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年10月12日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ゲスト：迫田さおり（元日本代表）</p>		
<p>検証テーマ：来年のGW10連休へ、外国人労働者、アメリカ中間選挙、九州電力で出力制御 医学部入試で差別的取扱い、玉城デニー沖縄県知事と安倍総理が面会、NY株式市場</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来年のGW10連休へ ・ 外国人労働者 ・ アメリカ中間選挙 ・ 九州電力が出力制御 ・ いじめ放置で3度自殺未遂 ・ 医学部入試で差別的取扱い ・ 玉城デニー沖縄県知事と安倍総理が面会 ・ スポーツ報道 ・ 23Today <ul style="list-style-type: none"> 来年のGW10連休へ 外国人労働者 <ul style="list-style-type: none"> “細断”バンクシー作品売買成立 松橋事件、再審確定 愛媛県のご当地アイドル少女自殺、「パワハラが原因」と遺族が提訴 ・ 天気予報 ・ NY株式市場 ・ 世界バレー特集 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来年のGW10連休へ：結論→特に問題なし <p>政府は今日、来年に限って皇太子さまの即位日である、来年5月1日を祝日にする考えを示したこと、安倍総理の「天皇陛下のご退位と皇太子殿下の御即位を国民こぞって寿ぐことができるよう、政府として万全の準備を進めていかなければなりません。」というコメントが伝えられた。政府は新天皇の即位を国内外に宣言する即位礼正殿の儀が行われる来年10月22日についても祝日とする方針を明らかにしたとのことも合わせて伝えられた。</p> <p>即位の日の取り扱いを巡って苦慮するカレンダー会社について以下に朱記したのインタビューのシーンが取り上げられた。</p> <p>高橋茜さん（トーダン）「全て2019年版のカレンダーになります。」</p> <p>ナレ「年間およそ200種類、1000万冊のカレンダーを製造販売するトーダン。既に来年用のカレンダーは出荷</p> 		

が始まっていました。そのカレンダーには5月1日とその前後の3日感は平日を表す黒字のままです。」

高橋茜さん「製造を始める段階では祝日というような決定はされていないので、今のところ修正をしたりとかそういったところは考えておりません。」

ナレ「ただ、5月1日は赤字で即位の日と表示しています。」

高橋茜さん「記念に残る寿ぐ日というような意味合いということでこのような表現をしております。」

このトピックに当てられた時間は150秒で、放送法上は特に問題は見られなかったが、即位の日の取り扱いや新元号を巡ってはカレンダー業界やシステム業界など特定の業界に追加的な負担が生じやすいだろうから、そうした業界の人々の声をもっと取り上げると、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」をより高い水準で満たすのではないだろうか。

・外国人労働者：結論→問題あり

外国人労働者の受け入れ拡大に向けた法律の改正案が明らかになり、日本語や仕事の能力に応じて日本に在留できる期間を延長していくもので事実上の永住にも道を開くものとなりそうであり、政府が取りまとめた法案の骨子によると政府が新たに設ける在留資格は二通りあり、一つは日本語ができて優れた技能を持つと認定された場合最長五年の在留資格を認めるというもので、もう一つは熟練した技能を持つと認められた場合は在留期間の更新が可能で家族の同伴も可能で事実上の永住にも道が開かれる形であることが伝えられた。

また、日本の技能を学び母国で生かしてもらうことを目的に国際貢献として始まった従来の技能実習生制度についても取り上げられ、ベトナムからの技能実習生を受け入れている中村健二（親和工業取締役部長）の「石の上にも三年じゃないけどですね、三年が終わって今から本領発揮というところで帰られるんですね、それはもう残念極まりないですね。」というコメントや、外国人を雇用している手島崇伺（元祖ラーメン長浜屋店主）の「今、日本人の人材ってのがなかなか思う通りに来てくれない部分があるから募集をかけたら今9割以上は外国人が今くるような状態です。」というコメントが取り上げられていた。

くわえて、経済アナリストの森永卓郎氏の「これはもう国際貢献っていうのを有名無実化することだと思いませんよね、要するに労働力だけを搾取して後のことは知りませんよっていう政策で私は人権上も大きな問題なんじゃないかなと思いますね。」や「賃金は外国人労働者を入れれば確実に下がるんです。外国人に依存しないと国が回らないっていう社会がやってきてしまう。効率的に仕事をして、十分な賃金が得られるようにするっていうのが本来の政策」というコメントが取り上げられていた。

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた

雨宮塔子「外国人の受け入れが拡大しますが移民とは何が違うんですか、」

星浩「そうなんです。自民党の中にね、移民っていうのは抵抗がありましてね、今回安倍総理は、その移民にはつながらないんだ、外国人の受け入れ拡大だ、っていうことで始めるんですね、ただしかし本当にね、外国人の人がいっぱい来てくれるのかどうか、このへんはちょっとこれから手探りなんですけれども、最近是中国とか台湾と取り合いになっている面もありますね、東南アジアの労働者に対してね、ですからその、それに対しては厚遇、待遇も良くしなくちゃいけないし、色んな面で家族とか連れてこれるような制度にしなくちゃならないっていうことで始まっているんですけど、少しずつはやっているんですけども、なかなか全般的な政策にならないので、そろそろ長い目で見て日本は外国人の人とどういうふうにするか、その抜本的な政策をね、

作っていく必要があるんですよ。」

このトピックに当てられた時間は 437 秒で、新たな制度についての意見で取り上げられていたのは森永卓郎氏の反対意見のみで、新制度について賛成の意見は取り上げられていなかった。これについては放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に照らして問題であると言える。

・アメリカ中間選挙：結論→特に問題なし

世界で絶大な人気を誇るアメリカの歌手テイラー・スウィフトさんが先日野党民主党への支持を表明し波紋を広げた、一方で大人気アメリカのラップ歌手カニエ・ウェストさんはトランプ大統領への支持を鮮明にしたことが報じられ、カニエさんがトランプ氏のキャッチフレーズでもある「アメリカを再び偉大に」の野球帽をかぶってトランプ氏を訪ねたことが伝えられ、その様子が以下に朱記したように取り上げられていた。

カニエ・ウェスト「この帽子を被るともっともお気に入りの英雄、スーパーマンになったような気分になるんだ。」
ナレ「いささか興奮気味、本来は犯罪対策などを話し合う予定でしたがまくしたてるカニエさんにさしものトランプ氏も困惑顔です、そして今度は。」

トランプ大統領「彼は偉大だ。頭の切れるやつだ。」

カニエ・ウェスト「神の復活だよ。トランプ氏は今英雄の旅路にいるんだ。」

ナレ「最後はハグでしめ、中の良さをふんだんにアピールしました。」

テイラー・スウィフトさんの投稿をきっかけに、民間団体によると彼女の投稿から 30 歳以下の若者 36 万人以上が有権者登録をしたとのことも伝えられた。

また、上智大学の前嶋和弘教授の「中間選挙でこれだけアーティストとか有名な例えば俳優とかがこれだけ声を上げるといのはあんまり聞いたことないですね。大統領選挙ですとこの大統領候補がいい、この大統領候補がいいみたいな感じで応援団がついてくるのが普通ですけど。」「中間選挙ですけどこれだけ盛り上がっているといのはあんまり聞いたことがないレベルですね、若者の有権者登録が大幅増えました。一気に増えています、ですからわずか数ポイントの投票率を変えていく可能性は結構ありますよね。」という見解が紹介された。

このトピックに当てられた時間は 229 秒で、放送法上の問題は特に見られなかった。

・九州電力で出力制御：結論→放送法上高く評価

九州電力が一部の太陽光発電の事業者がこの土曜日に一時的に発電の停止を求める出力制御を実施することを決めたこと、その理由は電力の供給過剰つまり電力があまりすぎていることにあるということが報じられた。

九州の電力需給についてはナレーション及び九州電力の和仁寛部長により、以下に朱記したように説明がなされていた。

ナレ「日照時間が長く、太陽光発電が普及する九州。導入量は原発八基分に当たる 800 万キロワットを超え、GW の日中、一時総需要の 81% を太陽光発電が賄うことになりました。さらに、ここ数年玄海原発と川内原発で 4 基分。およそ 400 万キロワットの原発が再稼働。九州の電力供給の能力は増え続けてきました。一方、電力の需要は秋人入って涼しくなった為大幅に減少。電力があまり気味という状況になっているのです。電力が豊富にあるのはいいことのような気もしますが。」

和仁寛「電力の安定供給のためには発電する両と使われる電気の量を常に一致させることが必要でございます。」

ナレ「普段は均衡している電力の需要と供給のバランス、これがどちらかに傾くと電気の周波数の変動を引き起こし、最悪の場合、大規模な停電、ブラックアウトに繋がる恐れがあります。例えば先月の北海道の自身では発電所の停止によって電力の供給が急激に低下。これをきっかけにほぼ全域がブラック・アウトしました。」

ナレ「最悪の事態を防ぐため、今回九州電力はすでに火力発電所の出力を下げるなどの対策をとってきているといえます。しかし」

和仁寛「本州の他の電力会社に電力を引き取ってもらったりといろいろな対策を講じましても供給力の余剰分が43万kw程度発生すると見込んでいます。」

ナレ「九州電力はやむなく国内初となる本格的な太陽光発電の出力制御に踏み切ることを決めたのです。」

この九州電力の決定に対し、反原発を訴える佐賀県のグループ、さよなら原発！佐賀連絡会の豊島耕一代表の「少なくとも一基止めれば太陽光発電を止めることは必要なくなるわけですから、少なくとも四期動いている原発の一基でもすぐ止めると。」「全く本末転倒。電気が足りないから原発じゃなくて電力が余っているのに原発というね、そういうとんでもない状況だと思います。」という意見が取り上げられており、それについてナレーションが「原発一基の出力は100万kw程度、一基止めれば九州電力が出力を抑制するとしている、43万キロワット分をカバーできるのでは、という主張です。」と補足説明していた。

また、出力制御についてはナレーションによって「ただ、国は電力会社が出力制御を行う場合の大まかな優先順位をルール化し法律で定めています。その順番はまず火力発電を抑制し、次にバイオマスそして太陽光や風力を制御するというもの。原子力は最後まで手を付けず優遇する形となっています。原子力は発電量を短時間で変更しにくいということが国の上げる理由です。」とも説明していた。

加えて、九州以外の事業者も今回の出力制御に危機感をつのらせているとして、東京世田谷区の廃校にオフィスを構え太陽光などの再生可能エネルギーを環境意識の高い消費者などに販売し業績を伸ばしてきたみんな電力の事業本部開発部の真野秀太郎「再エネはこれ以上入らないのではないかなというように、誤った印象を与えてしまうというのは非常に導入にとっては障害になるのかな。あくまでユーザー目線で、電気を使う側の目線で再生可能エネルギーを使いたいというようなニーズにちゃんとこう沿ったような、制度設計をしていくというのがすごく大事じゃないかなと思います。」という不安の声も取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮塔子「電力が余った時に制御されるのがなぜ、太陽光と言った再生可能エネルギーなのか、釈然としませんね。」

星浩「そうなんです、まあ原発はなかなか一回止めるとなかなか動かすのに手間がかかるという理屈なんですけど、まあ福島原発のときから原発をなくして再生エネルギーを増やそうってやってきたんですけども、九州では原発をどんどん稼働させて再生可能エネルギーを抑えるというわけですからちょっと理屈がわかりませんよね。ですからこれはやっぱりなんでそういう理屈になっているのかどうい影響があるのかしっかりと議論してもらいたいですし、原発政策のそもそも論としてしっかりと議論してもらいたいと思いますよね。」

このトピックについて当てられた時間は413秒で、電力の安定供給の仕組みや出力制御についての国の法律などにも言及されており、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という観点からは高く評価できるものであると言える。

- ・医学部入試で差別的取扱い：結論→特に問題なし

東京医科大学で女子や浪人生を不当に差別する入試が行われていた問題をめぐり、他にも複数の医学部で男女の扱いに差を設けるなど不適切な入試が行われていた疑いがあることがわかったこと、さらに特定の受験生を優遇していると疑われるケースも見つかったということが報じられた。また柴山昌彦文科相の「複数の大学の入試で男女、年齢等により取り扱いに差を設けている事案が判明しました。」というコメントが取り上げられていた。

このトピックに当てられた時間は 32 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・玉城デニー沖縄県知事と安倍総理が面会：結論→特に問題なし

先月末に当選した沖縄県の玉城デニー知事は安倍総理と初めて会談し、辺野古へ基地を移設することへ反対する考えを示し、これに対し安倍総理は基地負担の軽減に努めると述べる一方、辺野古移設に関する政府方針に変わりがないことを強調したことが報じられるとともに、玉城デニー知事の「今回の選挙で辺野古新基地建設は認められないという民意が改めて示されており、辺野古の新基地建設には反対を致します。」というコメントが取り上げられていた。このトピックに当てられた時間は 32 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・NY 株式市場：結論→特に問題なし

スタジオで以下に朱記した場面があった。

駒田健吾「では最後に 2 日続けて大幅に下落したニューヨーク株式市場ですが、12 日は大幅に反発し前日からの上げ幅が一時 400 ドルを超えました、現在はご覧の水準となっております。」

テロップ「円相場 1 ドル=112 円 08 銭~11 銭 (24 銭△)、1 ユーロ=129 円 52 銭~53 銭 (71 銭△) NY ダウ 25282 ドル 25 セント (229 ドル 42 セント△)」

星浩「マーケットにはまだ一つ不安がありましてね、10 年前のリーマンショックの時はアメリカは利下げをして中国は財政出動をしてね、協力してねそのリーマン・ショックを乗り越えようと頑張ったわけですけども、今その米中は貿易戦争ですからこの二人が仲が悪いというのはちょっと心配ですよ。」

このトピックに当てられた時間は 32 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

- ・外国人労働者

星キャスターのいう「そろそろ長い目で見て日本は外国人の人とどういふふうにするか、その抜本的な政策をね、作っていく必要がある」という意見には必ずしも同意するものではないが、外国人労働者を巡る政策については、老後まで想定した外国人永住をもっと容易にして日本社会に受け入れていくのか、それとも母国よりは高い給料で出稼ぎの外国人を受け入れ働ける間にしっかり稼いでもらい稼ぎ終わったら母国に帰ってもらうというビジネスライクな関係でやっていくのか、そのあたりのコンセプトはしっかりと詰める必要がある

り、「共生」というものの重要性についてもそのコンセプト次第でおのずから定まってくるものではないだろうか。

・九州電力で出力制御

出力制御については VTR でも説明されていたように火力、バイオマスそして太陽光や風力の順に制御の対象となり原子力は最後まで残されるという国の定めた出力制御の順序があることから、太陽光や風力まで出力制御の対象となるという事態は出力制御が行われる中でも相当イレギュラーな事態であると言えるだろう。また、電力供給は電力需要の低いシーズンには抑制するのみならず夏や冬といった電力需要の高いシーズンでもその需要に応えられる供給力を備えてなければならないということも VTR からは伺える。

対してスタジオでの雨宮キャスターの「電力が余った時に制御されるのがなぜ、太陽光と言った再生可能エネルギーなのか、釈然としませんね。」というコメントや星キャスターの「そうなんです、まあ原発はなかなか一回止めるとなかなか動かすのに手間がかかるという理屈なんですけど、まあ福島原発のときから原発をなくして再生エネルギーを増やそうってやってきたんですけども、九州では原発をどんどん再稼働させて再生可能エネルギーを抑えるというわけですからちょっと理屈がわかりませんよね。ですからこれはやっぱりなんでそういう理屈になっているのかどういう影響があるのかしっかりと議論してもらいたいですし、原発政策のそもそも論としてしっかり議論してもらいたいと思いますよね。」というコメントからは、電力が余っている今だけしか考えておらず、電力需要が高まる夏や冬はどう対応するのか、ということについては考えていないような印象を受ける。雨宮キャスターの「釈然としない」というのも、最初に制御されるのは火力であることを忘れていたかのような言い方であり、いささか感情論に傾いているようにも見えた。

また、星キャスターのコメントについても、VTR が非常に丁寧に作り込まれていたにもかかわらず「これはやっぱりなんでそういう理屈になっているのかどういう影響があるのかしっかりと議論してもらいたい」というのも、違和感があった。

今回は VTR の部分が放送法上も高く評価できるだけに、スタジオでのやり取りが蛇足であるように感じられて仕方なかった。